○米沢市旧学校利用施設条例施行規則

令和3年3月31日

規則第21号

改正 令和4年3月29日規則第27号

(趣旨)

第1条 この規則は、米沢市旧学校利用施設条例（令和3年米沢市条例第12号。以下「条例」という。）第14条の規定により、旧学校利用施設（以下「施設」という。）の管理及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 施設の休館日は、12月29日から翌年1月3日までとする。ただし、市長が必要と認めるときは、これを変更することができる。

(令4規則27・旧第3条繰上・一部改正)

(使用時間)

第3条 施設の使用時間は、午前9時から午後10時までとする。ただし、市長が必要と認めるときは、これを変更することができる。

(令4規則27・旧第4条繰上・一部改正)

(使用許可の申請)

第4条 条例第3条第1項の規定により施設の使用の許可を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、次に掲げる事項を記載した申請書を市長に提出しなければならない。

- (1) 申請者の氏名、住所及び連絡先
- (2) 使用の許可を受けようとする施設
- (3) 使用の目的及び日時
- (4) その他市長が必要と認める事項

2 前項の申請書の提出は、使用しようとする日（以下「使用予定日」という。）の3月前に当たる日の属する月の初日から使用予定日の前日までの日（市長が定める日を除く。）にしなければならない。ただし、市長が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(令4規則27・旧第5条繰上・一部改正)

(使用許可書の交付等)

第5条 市長は、施設の使用の許可を申請書を受理した順（申請書が同時に提出された場合は、申請者との協議又は抽選により定めた順）に行うものとする。ただし、申請者が公用又は公共のため使用する場合であって、市長が特に必要と認めるときは、この限りでない。

2 市長は、使用の許可をしたときは、使用許可書を当該申請者に交付するものとする。

(令4規則27・旧第6条繰上・一部改正)

(使用許可期間)

第6条 施設の使用を許可できる期間は、同一の申請者について引き続き6日を超えることができない。ただし、市長が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(令4規則27・旧第7条繰上・一部改正)

(使用不許可の通知)

第7条 市長は、条例第4条の規定により使用を許可しないときは、その旨を申請者に通知するものとする。

(令4規則27・旧第8条繰上・一部改正)

(使用料の納付)

第8条 条例第7条の使用料は、施設の使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）が使用の許可を受けたときに納付しなければならない。

2 使用者は、第10条第2項の規定による許可の内容の変更に伴い、既に納付した使用料に不足を生じたときは、直ちにその不足額を納付しなければならない。

(令4規則27・旧第9条繰上・一部改正)

(使用料の減免)

第9条 条例第8条の規定により使用料を減額し、又は免除すること（以下「使用料の減免」という。）ができる場合は、次のとおりとする。

- (1) 本市が使用するとき。
- (2) その他市長が必要と認めるとき。

2 使用料の減免を受けようとする者は、その理由を記載した申請書を市長に提出しなければならない。

3 市長は、使用料の減免を決定したときは、決定通知書を当該者に交付し、使用料の減免をしないことを決定したときは、その旨を当該者に通知するものとする。

(令4規則27・旧第10条繰上・一部改正)

(許可内容の変更及び取消し)

第10条 使用者は、当該許可に係る内容を変更し、又は取消しようとするときは、使用予定日の前日までの日（市長が定める日を除く。）に、その旨を書面により市長に申請しなければならない。

2 市長は、変更又は取消しの許可をしたときは、変更許可書又は取消許可書を当該使用者

に交付するものとする。

(令4規則27・旧第11条繰上・一部改正)

(許可書の提示)

第11条 使用者は、施設の使用に当たっては、当該許可書を管理の業務に従事する者に提示しなければならない。

(令4規則27・旧第12条繰上)

(使用者の遵守事項)

第12条 使用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 所定の場所以外には立ち入らないこと。
- (2) 使用許可を受けた設備以外は使用しないこと。
- (3) 施設又は備付けの物件を汚損し、若しくは破損し、又は滅失するおそれのある行為をしないこと。
- (4) 他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (5) 許可なく施設内において寄附金の募集及び物品の販売を行わないこと。
- (6) 指定の場所以外で火気を使用しないこと。
- (7) 許可なく酒類を飲用しないこと。
- (8) 前各号に掲げる事項のほか、施設の管理上必要であることとして市長の指示する事項

2 使用者は、その権原に基づき施設に入場させた者がいるときは、その者に対して前項各号に掲げる事項を遵守させなければならない。

(令4規則27・旧第13条繰上・一部改正)

(入場者の規制)

第13条 市長は、施設に入場しようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その者の入場を禁止することができる。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれのある者
- (2) 管理の業務に従事する者の指示に従わない者

2 市長は、施設に入場している者が施設の管理上支障がある行為をし、又はするおそれがあると認めるときは、その者に退場を命ずることができる。

(令4規則27・旧第14条繰上・一部改正)

(施設内への立入り)

第14条 市長は、施設の管理上必要と認めるときは、使用中の施設内に管理の業務に従事

する者を立ち入らせることができる。

(令4規則27・旧第15条繰上・一部改正)

(読替規定)

第15条 条例第13条第1項の規定により施設の管理を指定管理者に行わせる場合においては、第3条から第5条まで、第7条、第10条及び第12条から前条までの規定中「市長」とあるのは、「指定管理者」とする。

(令4規則27・旧第16条繰上・一部改正)

(その他)

第16条 この規則に定めるもののほか、施設の管理及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

(令4規則27・旧第17条繰上)

附 則

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則 (令和4年3月29日規則第27号)

この規則は、令和4年4月1日から施行する。